

地区国際奉仕委員会が、7月10日高崎で行われ、出席してきました。事業計画や活動方針についての説明がありました。

ニコニコボックス：	13日現在累計 70,000円
-----------	-----------------

佐藤義英君 五十嵐川クリーン作戦、大勢の方々参加ありがとうございました。

長谷川恵慈君 ”

五十嵐総一君 佐藤会長、長谷川幹事の新年度スタートご活躍を期待申し上げます。メーキャップさせていただきますのでよろしく。

梨本清一君 五十嵐川クリーンにはわがクラブからは特に大勢ご参加頂いて本当にありがとうございました。

斎藤正君 青少年健全育成市民大会では物心両面にわたりご支援いただき有難うございました。

馬場直次郎君 五十嵐川クリーン皆様ご苦勞様でした。当クラブも大勢の会員の出席もあり又全体で予想以上の市民が参加して牛乳パックが大分少なくなったという報道がされていました。市民意識が高まってきた証でしょうか、うれしいかぎりです。

佐藤文夫君 本日も100%。／

木宮隆君 考えてみたら佐藤年度初めての出席でした。佐藤新会長の“ごあいさつ”に期待して。

久保博君 佐藤さん卓話「無題」どんな中身でしょうか？楽しみです。

外山晴一君 佐藤さんの卓話楽しみです。

西村護君 先日の佐藤義英会長杯の競馬でのあがりのにぎりの差額です。

山口龍二君 にぎり分です（ゴルフで連戦連勝だそうです）

柄沢憲司君 会長よりお話がありました様にベリア方式で優勝致しました（実力ではありません）ニギリで^{ブラマイ}+2,000^{プラス}+でしたのでそっくりニコニコへ。

佐藤弘志君 柄沢さん、坂内さん、ゴルフ・競馬当りました。有難う御座いました。

芦田義重君 会長コンペで複数の人とにぎりで1勝4敗であげくのはメーカーになりました。賞品に期待したのですが参加賞で終わりました。山口さんゴルフ教えて!!今日又、佐藤さん卓話ごくろうさます。

卓 話：「無題」 佐藤弘志会員

高校生の頃、美人の婦人警察官に補導（酒とタバコ）され、やさしく説教され、そしてその婦警さんに憧れ、警察官になり、自分のわがままを上司に注意され短気を起し警察を退職した上、県警本部からビル管理会社への就職を世話をして戴きました。ビル管理の仕事を覚え、昭和50年に独立、商売の道に導き戴いた婦警さん始め多くの皆様に感謝を申し上げ、ビル管理学の歴史と動向を



述べさせて戴きます。

ビル管理業務の品目として

〔環境衛生管理業務〕…空気環境管理、給排水管理、建物内外清掃、ねずみ、こん虫等の防除、廃棄物処理 〔設備管理業務〕…電気通信設備、昇降機設備、空調設備、給排水設備、消防用設備、建物保全業務 〔警備、防災管理業〕…警備保安業務、防火、防災業務、駐車場管理 〔その他サービス管理業務〕…ビルマネジメント業務、受付、案内業務、電話交換業務、メールサービス、ベッドメイキング、医療機関サービス

ング、医療機関サービス

日本のビル管理業の発端は、戦後の進中軍が焼け残ったビルを接收し、日本の不動産業者に清掃を発注した。

昭和40年代、高度成長により、巨大、高層ビル化し、ビル管理業も急激な発展を遂げる。又昭和45年、ビルの所有者に環境衛生維持を義務付けた。ビル衛生管理法（3000㎡以上の建物対象）が制定されこの期はビル管理業の急成長期であった。昭和48年10月石油ショックで急成長も止まり、ビル管理業は今までの安易な経営の反省を促し、無駄の排除、能率化、合理化対策や、技術研究、社員教育も活発になる。

昭和55年ビル管理法一部改正（ビル管理事業者の質的向上を図るため県知事事業登録制がしかれる。）

1号登録→建築物清掃業 2号登録→建築物空気環境測定業 3号登録→建築物飲料水水質検査業 4号登録→建築物飲料水貯水槽清掃業 5号登録→建築物ねずみ、こん虫防除業 6号登録→建築物環境衛生一般管理業 1号～6号の事業登録制をしき、今までの厚生大臣指定業から知事登録に変わる。又ビル管理業の中に警備があるが、ビル管理業者の警備（施設警備常駐）とセコム等の専門警備業者の警備（機械警備、施設警備、貴重品運搬警備、身辺警備、交通警備等）であり、警備業は、昭和37年頃初めて専門の警備会社が出来、昭和39年東京オリンピックの警備で広く認識されている。

昭和47年警察所管の法律として警備業法が制定され安全産業の地位の確立に至った。

平成9年度業界売上…ビル管理3兆4千億円 専門警備業2兆4千億円（前年比9%増）

又関連業務関連法規は、労働者派遣法、水道法、消防法等いろいろあります。

ビルメン業の売上の半分以上を占める清掃は平成8年・WTOの政府調達によって役務（国等の管公庁のみの物件）が一般競入札になり、将来は中国等のWTO参加で官公庁物件はあまり期待出来ない。

今後の業界の動向としては、来年施行になる介護保険の介護事業（5兆～6兆円市場）やリフォームやリニューアルの建物営繕事業、労働者派遣事業への進出である。又差別化を図り設備管理業